

# なぜ、いつ起こるか分からない感染症危機に備えるの？

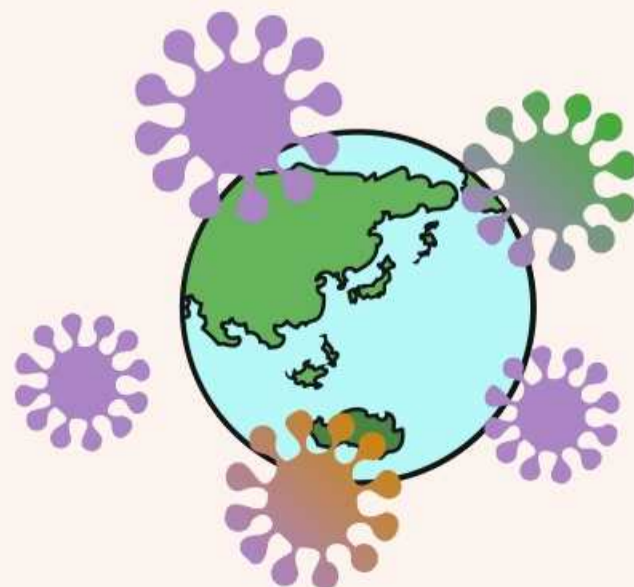
## Q1 次の感染症危機に対する備えは必要ですか？

**A** 感染症危機はいつ起こるか分かりません。  
国民の生命や健康を守るため、  
平時からの備えが不可欠です。

近年、地球規模での開発の進展により、開発途上国における都市化や人口密度の増加、未知のウイルスの宿主となっている動物と接する場面の増加など、未知の感染症との接点が増えています。さらに、グローバル化で海外と行き来する機会が飛躍的に増え、こうした未知の感染症や、近い将来克服され则认为られていた感染症が再び流行するような事態が発生した場合、世界中に拡散するおそれも高まっています。

こうした未知の感染症の発生時期を正確に予知することは困難であり、発生そのものを阻止することは不可能です。

次の感染症危機から国民の生命や健康を守るため、平時から万全の備えを行うことが不可欠であり、ひとりひとりの行動が重要です。



## Q2 感染症危機への対応として、なぜ新型インフルエンザ等に特に備える必要があるのでしょうか？

**A** 新型インフルエンザ等は、ほとんどの人が免疫を持っておらず、パンデミックになるおそれがあります。このため、平時からの備えが重要です。

新型インフルエンザや今後新たに発生するかもしれない生命や健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症は、ほとんどの人が免疫を持っていません。

発生した場合は、人から人へ感染しやすく、大きな流行（パンデミック）となり、健康被害とそれに伴う社会的な影響をもたらすおそれがあります。

例えば、2020年（令和2年）1月に、日本で最初の新型コロナの感染者が確認されて以降、新型コロナの感染は拡大し続けました。その結果、国民の生命と健康が脅かされ、国民生活や社会経済活動は大きく影響を受けました。

次の感染症危機を予測することは困難です。新型インフルエンザ等が流行する可能性も想定し、感染拡大をできるだけ抑え、国民の生命や健康を守るため、平時からの備えが必要不可欠です。

 一緒に確認してみよう!

- 新型インフルエンザの治療について  
→ Q12 参照
- 新型インフルエンザのワクチンについて  
→ Q14 参照



# Column

—コラム—

## 新型インフルエンザとは

「新型インフルエンザ」は、毎年流行する「季節性インフルエンザ」とは異なり、突然変異で発生する新型インフルエンザウイルスによる感染症で、およそ10年から40年の周期で発生しています。ほとんどの人が免疫を持っていないため、急速にまん延し、社会に大きな影響をもたらすおそれがあります。

治療薬として、国・都道府県は、必要な量の抗インフルエンザウイルス薬を備蓄しています。また、ワクチンとして、感染症危機時に医療従事者等に速やかに接種できるよう、新型インフルエンザが発生する前の段階で、新型インフルエンザウイルスに変異する可能性が高い鳥インフルエンザウイルスを基に製造されるプレパンデミックワクチンの備蓄も行っています。

